

令和2年度 国母保育園自己評価

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

保育園の計画と編成と実施に関する評価

項目	内 容	評価	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育園目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	B	全職員で園の理念、方針、目標を確認し合い、共通理解を深めている。また主任会議、リーダー会議等を必要に応じて開き、各クラスへと情報共有を図る事が出来た。また、反省を生かせるようクラス内でよく話し合いを行う事を心掛けた。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	B	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	A	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	B	
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	指導計画を立案するために、前月の子どもの姿をクラス内で共有し、次月の保育設定を考え計画を立てていくことができた。 気になる事や問題点を他クラスより意見をもらう事で自分たちの保育の見直しを図れた。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	A	
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	A	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	A	
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	A	
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。	B	新指針に合わせ、さらに検討する必要がある。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	B	コロナ禍の中でも出来る事を考え、内容の検討をして中止とせず行う事が出来た。保護者の方にも感染対策の協力を得ながら行う事で互いに緊張感のある中で無事に終わられた。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	A	
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	A	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	A	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	B	
分 享 ・ 体 制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	B	年度始めに面談を行い、立場的な役割を伝え、それぞれがクラス内で自信を持って子どもと向き合う事が出来るようになった。
	(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	B	
	(3) 職員の配置は適材適所か。	B	
	(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	B	

運営・組織	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	B	月に一度の会議の中で明確な議題を設定し、話し合うことが出来た。	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	A		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	A		
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	B	特に未満児クラスは、年齢層の幅があるため、意見や考えの違いが出てしまうこともあったが、その都度互いの思いを伝え合い、保育内容を確認し、共通理解を図ることが出来た。	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	B		
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B		
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	B		
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	B		
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	B		
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	A	保育室内外の消毒、子どもたちへはマスクの着用、うがいを呼びかけ、感染対策を徹底していく事が出来た。 全家庭へ情報を文書で配布し、また掲示をすることにより情報共有にも努めた。	
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	B		
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	A		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	B		
	研究・研修	園内研修	(1) 研修主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	B	一同に集まって行う事が難しかったため、クラス内やリーダー等少人数での話し合いの場を持つようにした。
			(2) 園内研修の計画・運営は適切か。	B	
(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。			B		
(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。			B		
園外研修		(1) 各種園外研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	B	コロナ禍のため、研修会がほとんど開催されていない。	
		(2) 各種園外研修会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	B		
情報について		(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	A	適切に処理をする事が出来た。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	A			
	(3) 各名簿等は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A			
備・設	施設・設	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A	遊ぶ際は遊具やおもちゃの破損がないか確認を行い、不審者	
		(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A		

		(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。	A	等に対応するため、常に周囲に目が行き届くよう職員配置の配慮をしている。大型遊具は定期的に専門業者にて安全点検を実施。
		(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	A	
出納経理		(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	A	税理士の方にサポートを委託。
開かれた保育所づくり	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B	保護者・外部の方の人数を制限しながら、職員間で内容を検討し園内での日頃の保育を見て頂く事が出来た。 写真を掲示する事で沢山の方にも見て頂く事が出来た。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		(3) 乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	B	
	子育て支援の推進	(1) 地域の保育園として、園庭や保育室等を開放しているか。	C	保育室に空きスペースがない為支援センターは実施していない。 育児相談が気軽に出来るよう、送迎時や電話等で対応している。今後はさらに地域に積極的に出向いての相談を行っていききたい。 専門機関と連携し、気になる子どもの対応を行う事が出来た。
		(2) 地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	B	
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	B	
		(4) 職員による育児に係る「育児相談」は充実しているか。	B	
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A	
	情報発信	(1) 園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	B	毎月の園だよりやクラスだより、玄関ホールに保育の様子を掲示する事で保護者への情報発信に努める事が出来た。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B	
	外部の評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		ご指摘を受けたことは改善に努め努力している。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	B	